



# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## 例会記録 2005. 1. 19 (水) 通算1286回

ソング 「奉仕の理想」「歓迎歌」

本日のゲスト 米山奨学生 王金波 様

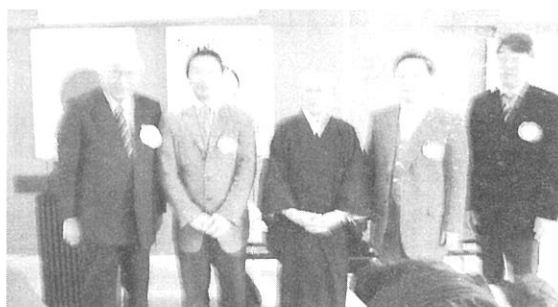
来訪ロータリー 大村 泰司 様 (高砂R.C.)  
アン報告 守 光 隆 様 (高砂R.C.)

出席報告 12月23日 会員数 52名 欠席者 2名 出席率 96.15 % <修正による>  
1月19日 会員数 52名 欠席者 14名 出席率 73.08 %

誕生祝  
内海 薫 会員  
塩谷 武彦 会員  
田水 敬雄 会員  
丸山 滋夫 会員  
菱田 克己 会員



結婚祝  
植杉 成一郎 会員  
西田 光衛 会員  
塩谷 武彦 会員  
嶋谷 拓雄 会員



## Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川中央ロータリークラブ	100周年記念例会	2/17(木) ⇒ PM6:00～ 於：田村
〃	東播第2グループI.M.の為	2/24(木) ⇒ 2/26(土) PM1:00～ 於：ウエディングパレス鹿島殿

会長 小西 文孝 幹事 都倉 達殊 クラブ会報委員長 庄 司 武  
例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)  
事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

## 転換期を迎える中国の人材戦略

2005年度米山奨学生 王金波 氏

神戸大学大学院経済研究科博士課程後期 総合経済政策専攻

### 概要

中国経済の成長はめざましい。経済成長をここまで引っ張ってきたのは、言うまでもなく日本をはじめ、諸外国からの投資ですが、優秀な人材の貢献も否定できない。しかし、経済の急激な国際化が進むなか、豊富な労働力を持つ中国とはいえ、国際的な優秀な人材が足りない事態も起こっています。その原因のひとつは中国の人材戦略にあると言えよう。今までの人材戦略はエリート教育でした。秀才教育の結果、国民の一部しか高度な教育を受けられない。また、所得格差、地域格差などの原因で、学費を払えず、学校をやめ、小学校の教育さえ受けられない学生は毎年たくさん出ています。一方、一人子政策から生じる両親の重い期待を背負って、厳しい受験戦争に勝ち抜いて、大学に入っても、(毎年250万人の新卒者の中に)就職できない大卒者は100万人にも上っています。このような状況の中に、外国で学び、優れた国際感覚を身につけた留学人材の活躍ぶりは目立っています。しかし、欧米組の活躍と対照的に、日本で学び、帰国したいいわゆるジャパンスクールの活躍は比較的に地味なものであります。その原因のひとつは留学先の各国の



異なる対応にあると思います。日本と中国の将来の関係も考えて、長年、日本で学んできた一人の留学生として、私は非常に残念と思います。留学人材による中国とアメリカ、そして中国と欧州連合の知的連帯を強化しながら知識型経済に挑戦しているなか、日本はどう向かい合うべきか、また、中国で事業を展開している多くの日本企業は優秀な人材の確保に悩んでいる現在、6万人も上る在日中国留学生をいかに活用し、人材で日本と中国を結べればいいのか日本にとっても、中国にとっても、大きな課題ではないかと私は考えています。

本日、ロータリアンの皆様の前にお話の機会を頂いて、誠にありがとうございます。米山奨学生になってから、まもなく1年になります。1年の間、多くのロータリアンと米山

学友会の方々とお付き合いできて、そして暖かく受け入れていただいたことに、深くお礼を申し上げます。

日本に来ることができて、ことしで10年になります。10年という歳月は長くも、短くも感じております。今までの留学生生活を振り返ってみると、私の青春そのものであって、大きく成長していくのが感じられます。

大学院での研究は為替や金利、そして株価の変動に伴う金融リスクの計測ですが、金融リスクの大きさを「正確」に計算できることは新しい金融商品の開発に欠かせないので、昨今の情報技術の飛躍的な発展に伴って、「ロケットサイエンス」と言われるほど、非常にやりがいのある分野の研究で、現在も、これに関して、博士論文の作成に取り組み奮闘しています。今後も研究のみにとどまらず、金融関連機関で実習と見聞などで業績を重ねて、将来、金融のエキスパートとして中国で活躍していきたいと思えます。

## 1. 中国経済の国際化

話は変わりますが、経済の国際化に伴い、中国の人材戦略の変化について、少し紹介させていただきます。皆さんもご存知のように、1979年の改革開放政策が始まって以来、中国経済は「世界の工場」といわれるほど大きく成長してきました。経済成長をここまで引っ張ってきたのは、言うまでもなく、日本をはじめ、諸外国からの投資ですが、優秀な人材の存在も否定できません。

2004年、中国の直接投資受け入れ額は契約ベースで8兆円、実績ベースで4兆円も

超えます。国と地域別を見れば、アメリカに続いて、日本は2位ですが、累積投資額やもの、人の流れも考えると、日本と中国の経済交流は最も密接な関係があるといえます。去年のデータですが、中国工業総生産の27%、輸出の50%が40万社の外資系企業によるものです。

また、中国で事業を展開している多国籍企業上位500社のうち、日本企業も含め、100社以上が中国でR&D（すなわち、研究開発）センターを設置しています。例えば、モトローラは中国ですでに1000人以上の研究開発要員を持っています。マイクロソフトは中国で最先端の研究を行っており、研究スタッフ350人のうち、約30人が世界トップクラスの研究者です。ソニーや松下電器など、日本を代表する企業も中国で優秀な人材の育成に力を入れています。

一方、中国はこの20年間、日本や欧米など外国への留学生は70万人もいます。そのうち、18万人は勉強や研究を終えて帰国し、外国で学んだ知識や経験を生かして、各分野で活躍しています。このような若く、知的レベルの高い人材は外国からの投資と一緒に、中国経済成長の原動力になり、中国の経済の国際化を促進しています。

## 2. 国際化に伴う人材戦略の変化

### 2.1 優秀な人材の不足

しかし、経済の急激な国際化が進む中、豊富な労働力を持つ中国とはいえ、国際感覚をもつ優秀な人材が足りない事態も起こっています。

その原因のひとつは中国の人材戦略にあると言えます。今までの中国の人材戦略は

エリート教育でした。秀才教育の結果、国民の一部しか高度な教育を受けられない。北京や上海などの豊かな都市部の高等教育進学率は60%を超える一方、貧しい農村部では10%にとどまります。

また、所得格差、地域格差などの原因で、わずか5000円の学費を払えず、初等教育さえ受けられない学生は中国全体で1億3000万人もいます。そのほとんどは農村部の子供達です。都市部での年間学費45万円を軽く超える幼稚園がたくさんあることも思えば、心が苦しくなります。

一方、一人子政策から生じる親の重い期待を背負って、厳しい受験競争に勝ち抜き、大学に入っても、毎年250万人の新卒者の中に、就職できない学生は100万人にも上っています。

中国の大学教育は1992年までに学費が無料だけではなく、食事代も国から補助してもらいましたが、92年以後、大学生が自費で勉強することになります。生活費や学費などを含めて、1年は2万元、日本円で30万円、中国の一般家庭の年収ぐらいです。それでも、高等教育を受けないと、出世どころか、通常的生活さえできない中国の厳しい学歴社会では、こどもにすべての希望を託している親は自分を犠牲にしてもいいほどわが子に大学教育を受けさせたいです。

このような経緯もあって、親の重い重い期待を背負う中国の大学生が、在学中に本当に勉強ばかりしています。朝の7時から大学の寮を出て、食堂でお粥をすすってから、午前中の4時間の授業を受け、1時間半の昼休みの後、引続き4時間の授業を受けます。夕食が終わってから、よる10時ま

でまた図書館や教室で自習します。

しかし、親の期待と学生の猛勉強の裏腹に、大学卒業しても就職できないという厳しい現実を恐らく誰も考えていなかったんでしょう。

ところで、中国の大学生の就職人気企業について、一番人気なのはやはり外資系企業です。国ごとの企業をわけると、1位はアメリカ、2位はヨーロッパ、3位は日本、4位以下は香港とか韓国とかあります。最近、実力主義の中国の新興企業（例えば、中国の松下電器とも呼ばれるハイアールやTCLなど）にも人気が出始めています。2003年のデータですが、人気ランキング上位30社に、中国企業12社もあります。

ただし、激しい人材競争の中、最近では、外資系企業も、中国企業も、実務経験がある即戦力を求めるため、もう新卒をとらなくなっています。説明会のようなものがあっても、看板をたてて「入社をしたかったら、関連企業2、3年実務経験をつんでから面接を受けに来てください」など、新卒お断りという動向に中国でもなっています。このような動きは新卒の就職難をさらに深刻させています。

### 2.2 脚光を浴びる海外留学組

国内の学生を待ち受ける厳しい現状と対照的に外国で学び、優れた国際感覚を身につけた留学人材の活躍ぶりは目立ちます。先ほども言ったように、2003年までに、中国の海外への留学生は70万人のうち、18万人が勉強や研究を終えて帰国しましたが、彼等の中に、すでに数多くの優秀な若い経営者、リーダーが出現しはじめ、中国経済成長の原動力となっています。

しかし、中国で台頭する新しいリーダーの中に、欧米組の活躍と対照的に、日本で学び、帰国したいいわゆるジャパンスクールの活躍は比較的に地味なものです。その原因のひとつは留学先の日本と欧米諸国の異なる対応にあると思います。具体的に言えば、イギリスやアメリカ、またドイツをはじめのヨーロッパ諸国は一貫して、長期的な人材戦略のもとで、留学生の受け入れから帰国後のサポートまで政府、財界、そして企業と連携しながら進めているのは特徴です。

これに対して、日本も同様な戦略を打ち出していますが、成果を挙げているとはいえません。日本と中国の将来の関係も考えて、長年、日本で学んできた一人の留学生として、私は非常に残念と思います。留学人材による中国とアメリカ、そして中国と欧州連合の知的連帯を強化しながら知的経済に挑戦しているなか、日本はどう向かい合うべきか、また、中国で事業を展開している多くの日本企業は優秀な人材の確保に悩んでいる現在、6万人も上る在日中国留学生をいかに活用し、人材で日本と中国を結べればいいのかは日本にとっても、中国にとっても、大きな課題ではないかとわたくしは考えています。

特に、アメリカの場合、一貫して戦略的に中国人学生を受け入れ留学させてきました。これば米中関係が不安定で相互不信が高まった時期にも途絶えることなく25年間も続いてきました。もちろん、その背景には、米国留学組を中国のエリート層に育てることによって中国を内側から変化させようという冷戦時代のアメリカの国家的な意図もありましたが、正字の思惑とは別に、

この戦略は英語を堪能し、アメリカ文化も理解している数多くの優秀な人材を育ち、大きな経済効果をもたらしました。これらの人材は現在の米中関係の主役にもなっています。

中国の名門大学で、大学ランキングはここ10年、常に一位ですが、理系のイメージが強いので、海外で案外2位の北京大学より知られていないようです。

### 3. 人材戦略の変化への日本企業の対応

うれしい事に、最近では、日本の企業や大学そして政府もこの問題をだんだん意識し始め、日中関係の将来を担う優秀な人材の育成に力を入れています。

昨年5月、日本政府は日本と関わりの深い中央政府機関等の若手行政官115名を対象に、日本の大学院における学位取得を前提とした留学に対して支援するプロジェクトを実施しました。この計画の実施によって、今後日中両国間の政府レベルでの相互理解の促進が期待されると思います。

民間において、東京大学は中国からの優秀な留学生を確保し、両国の産業界や政府、大学関係者との人脈構築につながるという主旨で、留学生の優先受け入れなど中国の清華大学と提携しています<sup>2</sup>。神戸大学も昨年3月北京で国際経営教育研究センターを設立し、北京大学と提携して、優秀な国際人材の育成に貢献しています。

産業界においても、ソニーや松下電器、トヨタなど日本を代表する企業は人材不足に対応するため、中国の大学と提携しながら、中国での研究開発や技術者の養成に力を入れています。

現在の中国は、確かに、所得格差や地域

### 高砂青松ロータリークラブ

通算	第326回
2004～2005	第7回
日	平成17年1月19日
場所	高砂商工会議所

出席者				臨時出席者	
小西	○	田水	×		
栗原	○	井野	×		
都倉	○	中谷	○		
辻田	×	田中伸	×		
増田	○	西中	×		

会長挨拶：

報告事項： 出席報告 (栗原康高) (後記参照①)  
会費納入状況 (辻田重恵) 12月末 100%

議案事項：

- 1月、2月のプログラムの件 (後記参照②) ……承認
- インドネシアスマトラ沖地震による津波被害への義援金…各会員1,000円 (全員にお願いする)

3. その他

#### ① R.I.表彰申請締切の件

- ア 意義ある業績賞 2005年1月31日……調整する
- イ 広報賞 2005年3月31日
- ウ 会長賞 2005年3月31日

①出席報告

11月度 本クラブ出席率 69.93% メークアップ率 24.84% 修正出席率 94.77%  
 12月度 本クラブ出席率 64.74% メークアップ率 28.85% 修正出席率 93.59% (途中経過)

	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	1/15		
会 員 数	51	51	51	52	52	52	52		
出 席 数	39	35	33	39	39	38	40		
メークアップ	10	12	16	12	9	10			
欠 席 数	2	4	2	1	4	4			
出席免除	0	0	0	0	0	0	0		
(病気欠席)	0	0	0	0	0	0	0		

②1月, 2月のプログラム

1月		2月	
5	休 会	2	【国際奉仕委員会担当】
12	1月15日(土)に変更 新年家族例会 PM6:00~ 於: ウエディングパレス鹿島殿	9	卓話 辻田 会員
19	米山奨学生 王 金波氏 【米山奨学委員会担当】	16	ロータリー創立100周年記念例会
26	【ロータリー情報委員会担当】	23	2月26日(土)に変更 東播第2グループI.M. 於: ウエディングパレス鹿島殿

格差などの不安定要因が存在しているように、光と影をあわせもっていますが、「世界の工場」から「世界のマーケット」に移りつつあります。また、海外留学組をはじめ、上昇志向の強い、優れた国際感覚を身につけた新しいリーダーが台頭しているなか、中国でのビジネス・チャンスも大きいでしょう。そのチャンスを生かすために、外国の企業にとっても、中国の企業にとっても、優秀な人材の確保は何よりも重要であると思います。また、今後の日本と中国の協力関係を深めるためにも、日本語堪能し、専門知識だけではなく、日本の文化や習慣なども理解できる優秀な人材をいかに

育ち、活用するのかが重要な課題ではないかと私は思います。

このような観点から、中国だけではなく、世界各国からきた優秀な留学生を支援し、国際的な人材を育てている民間最大の米山奨学会に採用されたことは、私は非常に光栄だと思えます。また、私たち奨学生を支えているロータリアンの皆様にも敬意を表したいと思います。これからも、皆様のご期待にこたえるように、日々勉学に努力し、近い将来、日本と中国の経済協力に貢献していきたいと考えております。引き続き、皆様のご指導の程宜しくお願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

Profile:

氏 名 : 王 金波 (WANG JINBO)  
 世話クラブ : 神戸東R.C.  
 奨学生 : 2004, 2005年度  
 大学 : 神戸大学大学院経済研究科博士課程後期  
 専攻 : Financial Economics and Financial Econometrics  
 研究テーマ : Essays on Financial Risk and Dynamic Asset Allocation

President 会長の時間

先週の新年家族例会には多数ご出席いただきまして有難うございました。久しぶりに楽しい時間をありがとうございました。

平成17年度を迎えまして折り返し点になりました。皆様のご協力をお願いいたします。一月はロータリー理解推進月間となっております。対外的には広報活動を通じて、対内的にはロータリー情報集会、討論、セミナーを通じてロータリーを推進する月間であります。

Secretary 幹事報告

第23回 通算1216回

1. ガバナー事務所より

①地区大会での「クラブ紹介」展示物作成のお願い

・展示会場：ポートピアホールロビー (1F～3F)

・展示期日：平成17年3月5日(土)～6日(日)

②GSE受入れ団員オリエンテーション並びに歓迎会のお知らせ

・日時：平成17年2月5日(土)

オリエンテーション14:00～

歓迎会 17:00～

・場所：ホテルニューアルカイクク

〒660-0881尼崎市昭和通2-7-1

2. 加古川ロータリークラブより

創立50周年誌が届いています。

3. 東播第二グループ庄司ガバナー補佐より

ロッカーにI.M.時に講演して頂く山口先生の資料を入れていますのでご参照願います。

4. 例会変更

加古川中央ロータリークラブ

2月17日(木)⇒100周年記念例会

午後6時～於：田村

2月24日(木)⇒26日(土)午後1時開会

東播第2グループI.M.

於：ウエディングパレス鹿島殿

Donation ニコニコ報告

塩谷 武彦

誕生日お祝ありがとうございます。結婚祝をありがとうございます。

菱田 克己・丸山 滋夫

誕生日ありがとうございます。

田水 敬雄

誕生日お祝ありがとうございました。

柿木 國夫・佐野 栄作

1月15日の新年家族例会を祝して。

植杉 成一郎・嶋谷 拓雄

結婚祝有難うございました。

吉田 一富

1月15日の新年家族例会楽しませて頂きました。

西田 光衛

早退します。結婚祝をいただき御礼まで。

内海 薫・井野 隆弘

矢野 聡・内橋 英昭

早退致します。

S.A.A. 増田 耕太郎

先日の新年家族例会にはたくさんニコニコをいただきましてありがとうございます。

後半もどうぞよろしくお願ひ致します。

et cetera 委員会報告

◎ 社会奉仕委員会 (中谷利幸委員長)

3月6日(日)バス旅行(高砂市国際交流協会)

四国琴平神社方面

プログラム予定

1月19日(水)	1月26日(水)	2月2日(水)	2月9日(水)
卓話 米山奨学生 王金波	ロータリー情報委員会 田水敬雄 会員	国際奉仕委員会 担当	卓話 辻田重恵 会員